

Y11b **かわさき宙と緑の科学館で捉えた「はやぶさ2地球スイングバイ」**

佐藤幹哉, 弘田澄人, 成瀬裕子 (かわさき宙と緑の科学館)

小惑星探査機「はやぶさ2」が、スイングバイのために2015年12月3日に地球に接近した。日本では、夕刻の北の空をはやぶさ2が飛来していく様子を観測できる条件にあり、JAPOS(日本公開天文台協会)を中心とする観測キャンペーンが実施された。かわさき宙と緑の科学館においても、この観測キャンペーンに参加しはやぶさ2の検出観測を試みた。当初、はやぶさ2は11~12等級と予想されており、光害の影響の大きい場所に立地する当館で観測することは大変難しい状況であったが、3種類の機材を用意して臨むことにした。

計画では、増光してくる18時から地球の影に突入する19時前までを観測する予定であったが、雲の影響もあり、実際に観測できたのは18時30分以降となった。この時間中において18時40分から18時53分まで、はやぶさ2の像をビデオ(動画)にて撮影することに成功した。得られた映像は、速報的にプラネタリウムの投影で紹介し、また館内のビデオ展示で観測翌日に公開した。また、精密な光度観測は予定しなかったが、得られた映像を測定し、約10等級まで明るくなっていることを確認できた。

なお今回の観測には、観測キャンペーンへの参加が事前に告知されたこともあり、テレビ局・新聞社・通信社、合わせて5社が当日の観測の取材に訪れた。観測の様子や得られた映像について、テレビ報道3番組における放映と、地元新聞1社への掲載があった。館内の公開にとどまらず、メディアにも取り上げられたことで、アウトリーチとしての貢献も十分に果たすことができた。

本講演では、成功に至った当館の取り組みと観測の詳細について報告する。